

半導体業界のライオンズ

シエアーを目指して

凛然として神楽坂からの挑戦

アンカー・ビジネス・システムズ(株) 代表取締役社長

永田 隆一



—61—

新聞の求人広告「求む男性。至難の旅。わずかな報酬。長期に渡る暗黒の日々。耐えがたき危険。生還の保障なし。ただし成功の暁には、名誉と賞賛を得る」

先日、日本電産社長の永守重信さんが審査委員長を務められた「日本企業家賞」の講演会に参加しました。ある社長が、リクルートに入社して、人事研修でこの言葉に触れて、自分の原点として

深く感銘を受けたと話されました。一九一四年にイギリスで、大英帝国南極陸路横断探険隊長アーネスト・シャクルトンが、隊員を募った新聞広告です。なんと五〇〇〇人を超す若者が応募してきたとの事です。「人は、パンのみに生きず、神の言葉により生きるものです」は、たしかキリストの言葉ですが、「自己実現、夢、貢献、希望」などど置き換えても面白い

と考えさせられました。となりに座っていた友人がいました。「なんだか、日本の半導体業界のエンジニア募集と重なって見えますね……」

モチベーションを考える 時には、意義より楽しさを

のリナスバルスは、考えました。世の中でマイクロソフトに対抗できる基本ソフト(OS)を作ろう。オープンソースを基本として、無償で全世界に公開しよう。そして、作り手を世界の技術自慢のハッカーに協力を求めました。出来上がったOSは、すばらしいものとなり瞬く間に全世界へ普及しました。ある学者が、

「最高峰のハッカー達との技術交流が楽しかった」「夢中になって時間が経つのを忘れる事ができた」などの回答が多く、調査結果は「Just For Fun(ただ楽しいから)」が理由とまとめられました。

最近、多くの企業では、社員のモチベーションを高める為に、様々な施策を講じていますが、意義

世界のいたる所で価値観が移行しています。これは、技術の進歩やグローバル化があいまって、価値観が多様化してきた事が原因です。昆虫が、さなぎから成虫へと変態するように、成長の過程で姿・かたちをまったく変えていくメタモルフォーゼが世界で起きている様に感じます。これは良い悪いで判断するべきもの

想像を超える場合もあり、なかなか難儀なものがあります。《何歳に戻りたい?》ある新聞社がアンケートを取りました。リタイアされた方々を対象に、戻れるとしたら何歳に戻りたいかという問いかけに、男性は圧倒的に五〇代が多く、女性は三〇代でした。この男性の五〇代というのは驚きです。仕事の責任も重く、多少先も見えてくるころに戻りたいという思いは考えさせられます。きっと仕事一筋に生きてこられて、それほど趣味も多くはなく、退職後の時間を持て余された生活の中で、五〇代の多忙なビジネスマン人生を楽しく思いつきりしめます。

なぜこのプロジェクトが成功したのかを調査します。参加したプログラマーにアンケートを取りました。無償なのになぜ参加して、開発を担ったのか

最大の疑問だったの事です。「ただプログラムを書くことが楽しかった」

や理屈を少し離れて、「Just For Fun」を施策に組み込むのも効果を期待できるかも知れません。

ではありません。そして、ビジネスマンは、自分のモチベーションを高めることを考えます。ビジネススマンが所属する企業も自治体もモチベーションを高める事を考えます。

しかし、最近では、メタモルフォーゼそのものが

事や結婚で多忙な二〇代を生き抜いて、三〇代を楽しく思い出す。若さもあり、子育ての楽しさや、責任が重くなるビジネスウーマンとしての多忙が、モチベーションの原点なのかもしれません。《夢と欲望と幸せ》あるアメリカの心理学者は、夢を実現させるプロセスでのプレッシャーは、大きなストレスとなり、欲望は満たした時だけの刹那的な満足とも指摘しています。結局、幸せは、日々の日常にあるのかも知れません。そうだとすると、モチベーションは、日々楽しめる環境がベースと考えるとすっきりします。

さて、先の質問に私なら福岡で海や山を駆け回っていた小学生時代と、何の迷いもなく答えます。

《Just For Fun》九一年ヘルシンキ大学

人の価値観により多様性を持つものです。現在、

モチベーションは、個人の価値観により多様性を持つものです。現在、

モチベーションは、個人の価値観により多様性を持つものです。現在、

モチベーションは、個人の価値観により多様性を持つものです。現在、

モチベーションは、個人の価値観により多様性を持つものです。現在、

(隔週掲載)